

スマートソリューション部門

**ローカル5G分野**  
最優秀賞

**5G #45<5G**  
※商標出願中

**NTT 東日本**

マネージド・ローカル5Gサービス「ギガらく5G」  
本格的5Gスタンドアロン機能と事前手続きから設計・構築・運用までワンパッケージのマネージド・ローカル5Gサービスを手頃な料金で提供。産業DXや地域課題解決に貢献するサービスとして評価された。

**MaaS分野** 最優秀賞



**Community Mobility**

AIオンデマンド交通サービス「mobi」  
AIルーティングを活用したエリア定額乗り放題の相乗り型モビリティサービス。生活圏内の移動手段として、エリア内を自由に回遊することができ、暮らしの利便性向上および行動変容に繋がる取り組みが高く評価された。

**ローカル5G分野**  
最優秀賞

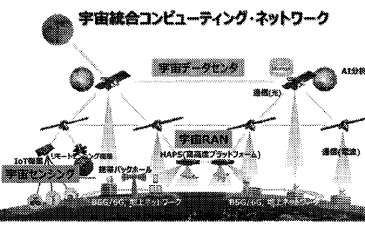


**NURO Wireless 5G**

**SONY**

「NURO Wireless 5G」  
ローカル5Gを使用した集合住宅向け固定インターネット接続サービス。光回線の配線が難しい集合住宅でもコンセントに挿すだけで、高速インターネットが使用できる点が高く評価された。

**非地上インフラ分野**  
最優秀賞



**NTT スカパー-JSAT**

「宇宙データセンタ構想」  
観測データを光伝送し宇宙空間でのエッジコンピューティングを実現する構想。両社が進める「宇宙統合コンピューティング・ネットワーク」の中核でレジリエントな通信インフラ構築が期待される。

**MaaS分野** 最優秀賞



**Mobility Technologies**

タクシーアプリ「GO」  
ピンポイントな地点でタクシーを呼べるアプリ。クレジットカードなどの支払い手段登録で、乗車中に支払いが完了する「GO Pay」などの利便性と普及度合いが評価された。

**ドローン分野** 最優秀賞



**JAPAN INFRA WAYMARK**

「スマートドローンによるインフラ点検サービス」  
ドローンを用いた橋梁や鉄塔などのインフラ点検で国内最大規模の実績を誇る。老朽化が進むインフラの維持管理負担の軽減や点検現場の安全性向上を実現。利便性や豊富な実績が高く評価された。

# MM総研大賞2022

発表します。スマート社会を支える製品・サービス。

MM総研はスマート社会を支えるICT(情報通信技術)分野の優れた製品やサービスを「MM総研大賞」として表彰しています。19回目となる「MM総研大賞2022」では17の製品とサービスを選びました。専門家による審査のほか、消費者へのアンケート、企業への取材などにより、認知度や使いやすさ、機能性、革新性、基盤技術としての広がりなどの観点から総合的に評価しています。

## 第19回 MM総研大賞

スマートシティ分野 最優秀賞 同時受賞

**NEC都市OS**  
FIWAREとNEC独自技術により  
安心してデータを利活用できるスマートシティの基盤

|                               |      |                     |        |
|-------------------------------|------|---------------------|--------|
| AI                            | 生体認証 | IDコネクト              | セキュリティ |
| データ利活用基盤サービス<br><b>FIWARE</b> |      | パーソナルデータ<br>利活用サービス |        |

IoTネットワーク



### 「FIWAREを活用したスマートシティ」

都市や地域の問題を解決するスマートシティを実現するにはセンサーデータなどの利活用が必要で、NECは欧州で始まったオープンソースのデータ連携基盤「FIWARE」の開発に2011年から参画し、普及を推進してきた。高松市や富山市などの自治体と協力して様々な地域サービスに活用し、近隣市町村にもその連携基盤を広げた。データ連携に必要な標準化などの取り組みやベンダーと自治体が一体となってスマートシティづくりに取り組んだ点が高く評価された。

**クラウドストレージ分野**  
最優秀賞



**box**

クラウドストレージサービス「Box」  
社内外のコラボレーションと業務プロセスに関するコンテンツを一箇所に集約して管理、保護、共有、制御できるクラウドサービス。ユーザー数の多さに加え、独自の機能を備えていることが高く評価された。

**スマートデバイス分野**  
最優秀賞



**SONY**

完全ワイヤレス型ヘッドホン「LinkBuds」  
自然な外音の取り込みとバランスの良い音質による音楽再生を両立する。圧縮音源の高音域をクリアに再現、5億サンプル以上のAIの機械学習で装着者の声と他のノイズを分離できる通話品質も評価された。

**XR/メタバース分野** 最優秀賞



**HIKKY**

実在する都市のメタバース化/パラリアル化を推進する「パラリアルワールドプロジェクト」  
現実世界に実在する都市をメタバース化するプロジェクト。今後5年以内に世界100都市のメタバース化を目指しており、その計画の社大とメタバース上での豊富な機能が評価された。

**DX支援ソリューション分野**  
最優秀賞



**oVice**

バーチャルオフィス「oVice」  
リモートワークの環境でもコミュニケーションを円滑化するバーチャルオフィス「oVice(オヴィス)」。その場にいる人に話しかけることや、一緒に会議室に移動することなど、人との距離を感じられるところが高く評価された。

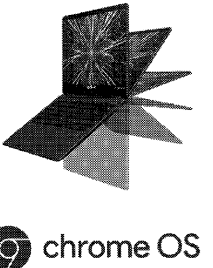
**DX支援ソリューション分野**  
最優秀賞



**servicenow**

業務フローをデジタル化するクラウドサービス「ServiceNow」  
組織や部門を横断するあらゆる業務フローを単一の基盤上で構築できるクラウドサービス。国内パートナーとともにサービスを提供し、生産性向上に貢献した点が高く評価された。

### 話題賞



**Google**

ビジネス向けブラウザ/OS/デバイスソリューション「Google Chrome OS™」  
Google Chrome OS は、組織で働く人々のデジタル変革を加速する。OSとブラウザに Chromebook™ 端末を組み合わせてシンプルな運用、安全なクラウド活用を実現する。



**Microsoft**

DX推進のためのオンデマンド型クラウドサービス「Azure Functions」  
Azure Functionsは、マイクロソフトが提供するクラウドサービス。Azure上でコードを実行することでサーバーレスでWebAPIやWebサービスを効率的に作成することができる点が高く評価された。



**EIPA デジタルインボイス推進協議会**  
E-Invoice Promotion Association

**EIPA デジタルインボイス推進協議会**

「デジタルインボイス推進の取り組み」  
日本の事業者が安価で簡単に利用できるデジタルインボイスの仕組みの構築および普及を、商取引をはじめとしたバックオフィス業務全般のデジタル化を目指した活動が高く評価された。



**デジタル庁**

「新型コロナワクチン接種証明書アプリ」  
日本政府が公式に提供する、新型コロナワクチン接種証明書を取得できるアプリ。マイナンバーカードの活用により複数の書類の提出が必要なくなったこと、誰もが使える直感的な操作性が評価された。



**LUUP**

電動マイクロモビリティのシェアリングサービス「LUUP」  
2020年5月に開始した電動マイクロモビリティのシェアリングサービス。電動アシスト自転車や電動キックボードを取り扱う。全国5都市の都心部に約1,300箇所のポートを設置。新しい交通インフラとして話題を集めている。

**審査委員**

|   |  |   |   |   |   |
|---|--|---|---|---|---|
| <br>委員長 村井 純<br>慶應義塾大学教授 | <br>天野 肇<br>特定非営利活動法人 ITS Japan シニアアドバイザー | <br>篠崎 彰彦<br>九州大学大学院 経済学研究院 教授 | <br>林 千晶<br>株式会社ロフトワーク 共同創業者 | <br>西田 宗千佳<br>フリージャーナリスト | <br>加太 幹哉<br>MM総研 研究部長 |
|---|--|---|---|---|---|

MM総研はデジタルトランスフォーメーションを促すICT(情報通信技術)の市場調査・コンサルティング会社です。スマートフォンや高速通信規格「5G」などのモバイル技術をはじめ、パソコンやクラウド、ブロードバンド、人工知能(AI)、ビッグデータといった情報通信分野の動向を幅広く調査し、デジタル変革のあるべき姿を提言しています。社名の「MM」は「モバイル&モビリティ」を表し、自動運転やドローン、ロボットなど産業分野のデジタル化にも注目しています。そうした知見をもとに国内外の革新的な製品やサービスを表彰する「MM総研大賞」がICT市場の発展と拡大に寄与することを願っています。

**関口 和一**  
MM総研 代表取締役社長